

科目ナンバリング		U-LAS21 10004 SJ48									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語 I B (文法) D1112 Elementary German B				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 石澤 将人			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習 (外国語) (対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
ドイツ語の初級文法をマスターし、ドイツ語の運用能力を高めるとともに、ドイツ語を話すドイツ人の文化や思考様式などを理解することを目指す。											
[到達目標]											
ドイツ語の仕組みの基礎を身につけ、辞書を用いながらやや高度な読解や簡単な作文ができるようになる。											
[授業計画と内容]											
の教科書は全18課から成っている。後期では第10課から第18課までを扱う。											
Lektion10 分離動詞、命令形 Lektion11 再帰代名詞、再帰動詞 Lektion12 接続詞と副文 Lektion13 zu不定詞句、非人称動詞 Lektion14 形容詞の比較 Lektion15 指示代名詞、関係代名詞 Lektion16 受動文、分詞 Lektion17 接続法(1) Lektion18 接続法(2)											
この講義はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う。 各課1回ないし2回の授業で取り組む。 教科書前半の文法事項も、折に触れて復習する。											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
成績評価については平常点（授業参加の積極性や課題の提出状況など）30%、学期末試験（筆記試験）70%の総合評価とする。											
[教科書]											
大川勇、恒木健太郎、石澤将人『読むためのドイツ語文法』（郁文堂、2014年）ISBN: 9784261012491											

ドイツ語 I B (文法) D1112(2)へ続く ↓ ↓ ↓

ドイツ語ⅠB（文法） D1112(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習の範囲は授業中に指示する。
練習問題を課題とし、PandA経由での提出を求めることがある。
外国語の習得には繰り返し学習することが肝要である。文法事項だけでなく、付属のCDやWEB上の音声データを使いながら例文も口に出して練習し、復習することを推奨する。
なお、練習問題を課題とし、PandA経由での提出を求めることがある。

[その他（オフィスアワー等）]

質問は授業時間の後に受け付ける。

辞書は毎回持参すること。辞書を持っていることを前提に授業を進める。電子辞書よりも紙の辞書の方が望ましい（スマートフォンのアプリ等は論外）。
到達目標である文法の習得の障害になるため、課題を解くにあたってWEB翻訳やAI等は使用しないこと。